

令和5年度 農業農村整備事業等事後評価地区別結果書「八斗木地区」変更対比表

変更後【技術検討会（第2回）】				変更前【技術検討会（第1回）】			
農業農村整備事業等事後評価地区別結果書				農業農村整備事業等事後評価地区別結果書			
局 名		九州農政局		局 名		九州農政局	
都道府県名	長崎県	関係市町村名	雲仙市 <small>（旧 南高来郡国見町）</small>	都道府県名	長崎県	関係市町村名	雲仙市 <small>（旧 南高来郡国見町）</small>
事業名	農業競争力強化基盤整備事業 （畑地帯総合整備事業）	地区名	八斗木	事業名	農業競争力強化基盤整備事業 （畑地帯総合整備事業）	地区名	八斗木
事業主体名	長崎県	事業完了年度	平成 29 年度	事業主体名	長崎県	事業完了年度	平成 29 年度
<p>〔事業内容〕 事業目的： 本地区は、雲仙市国見町の中央部の丘陵地に位置する畑作地帯であり、雲仙ブランド認定商品である「八斗木白葱」の産地であり、ばれいしょ、だいこん等の野菜類を組み合わせた畑作営農が展開されていた。</p> <p>しかし、丘陵勾配に沿って切り開かれ、石積みにより棚状に造られた農地は、狭小で、道路や水路も未整備なため、非効率的な営農を余議なくされており、かんがい用水も未整備であり、作付け作物の生育被害を防止するためのかん水にも多大な労力を要していた。</p> <p>このため、本事業により区画整理等の基盤整備、畑地かんがい用水の確保を行い、作業負担の軽減、生産性の向上を図り、雲仙ブランド「八斗木白葱」の安定供給と、市場のニーズに応えた多品目の作付を行うことで、農業所得の向上を目指す。</p> <p>受益面積： 42.0ha 受益者数： 99人 主要工事： 整地工 42.0ha、排水路工 8.2 km、沈砂池 6 箇所、道路工 5.3 km、畑地かんがい 41.7ha、ファームポンド 2 箇所、揚水機場 2 箇所、加圧機場 1 箇所、用水路工 11.7 km 総事業費： 1,626 百万円 工期： 平成 23 年度～平成 29 年度（計画変更：平成 29 年度） 関連事業： なし</p>				<p>〔事業内容〕 事業目的： 本地区は、雲仙市国見町の中央部の丘陵地に位置する畑作地帯であり、雲仙ブランド認定商品である「八斗木白葱」の産地であり、ばれいしょ、だいこん等の野菜類を組み合わせた畑作営農が展開されていた。</p> <p>しかし、丘陵勾配に沿って切り開かれ、石積みにより棚状に造られた農地は、狭小で、道路や水路も未整備なため、非効率的な営農を余議なくされており、かんがい用水も未整備であり、作付け作物の生育被害を防止するためのかん水にも多大な労力を要していた。</p> <p>このため、本事業により区画整理等の基盤整備、畑地かんがい用水の確保を行い、作業負担の軽減、生産性の向上を図り、雲仙ブランド「八斗木白葱」の安定供給と、市場のニーズに応えた多品目の作付を行うことで、農業所得の向上を目指す。</p> <p>受益面積： 42.0ha 受益者数： 99人 主要工事： 整地工 42.0ha、排水路工 8.2 km、沈砂池 6 箇所、道路工 5.3 km、畑地かんがい 41.7ha、ファームポンド 2 箇所、揚水機場 2 箇所、加圧機場 1 箇所、用水路工 11.7 km 総事業費： 1,626 百万円 工期： 平成 23 年度～平成 29 年度（計画変更：平成 29 年度） 関連事業： なし</p>			
<p>〔項目〕 1 社会経済情勢の変化 （1）社会情勢の変化 本地区の総人口について、平成 22 年と令和 2 年を比較すると 13%（△6,149 人）低下し、長崎県全体の減少率 8%（△114,462 人）を上回っている。</p>				<p>〔項目〕 1 社会経済情勢の変化 （1）社会情勢の変化 本地区の総人口について、平成 22 年と令和 2 年を比較すると 13%（△6,149 人）低下し、長崎県全体の減少率 8%（△4,462 人）を上回っている。</p>			

令和5年度 農業農村整備事業等事後評価地区別結果書「八斗木地区」変更対比表

変更後【技術検討会（第2回）】				変更前【技術検討会（第1回）】																																																																																																																			
<p>総世帯数については、平成22年と令和2年を比較すると5%（△722世帯）低下し、長崎県全体の減少率0%（△430世帯）を上回っている。</p> <p>【人口、世帯数】</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 5px;"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>平成22年</th> <th>令和2年</th> <th>増減率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総人口</td> <td>47,245人 (1,426,779人)</td> <td>41,096人 (1,312,317人)</td> <td>△13% (△8%)</td> </tr> <tr> <td>総世帯数</td> <td>15,863世帯 (558,660世帯)</td> <td>15,141世帯 (558,230世帯)</td> <td>△5% (△0%)</td> </tr> </tbody> </table> <p>(出典：国勢調査) 注：表中の下段（ ）は長崎県全体の値。</p> <p>産業別就業人口については、第1次産業の割合が平成22年の25%から令和2年の22%に3%（△1,010人）減少しているが、令和2年の長崎県全体の割合7%に比べて高い状況となっている。</p> <p>【産業別就業人口】</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 5px;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="2">平成22年</th> <th colspan="2">令和2年</th> </tr> <tr> <th>人数</th> <th>割合</th> <th>人数</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1次産業</td> <td>5,771人 (51,695人)</td> <td>25% (8%)</td> <td>4,761人 (40,802人)</td> <td>22% (7%)</td> </tr> <tr> <td>第2次産業</td> <td>4,614人 (127,183人)</td> <td>20% (20%)</td> <td>4,116人 (116,363人)</td> <td>19% (19%)</td> </tr> <tr> <td>第3次産業</td> <td>12,952人 (472,094人)</td> <td>55% (73%)</td> <td>12,613人 (460,542人)</td> <td>59% (75%)</td> </tr> </tbody> </table> <p>(出典：国勢調査) 注：表中の下段（ ）は長崎県全体の値。</p> <p>(2) 地域農業の動向</p> <p>平成22年と令和2年を比較すると、経営耕地面積については△10%、農家戸数は△25%、農業就業人口は△32%減少しており、65歳以上の農業就業人口についても△30%減少している。一方、農家1戸当たりの経営面積は19%、認定農業者数は5%増加している。</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>平成22年</th> <th>令和2年</th> <th>増減率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>経営耕地面積</td> <td>4,064 ha</td> <td>3,647 ha</td> <td>△10%</td> </tr> <tr> <td>農家戸数</td> <td>4,020 戸</td> <td>3,023 戸</td> <td>△25%</td> </tr> <tr> <td>農業就業人口</td> <td>5,562 人</td> <td>3,779 人</td> <td>△32%</td> </tr> <tr> <td>うち65歳以上</td> <td>2,691 人</td> <td>1,896 人</td> <td>△30%</td> </tr> </tbody> </table>				区分	平成22年	令和2年	増減率	総人口	47,245人 (1,426,779人)	41,096人 (1,312,317人)	△13% (△8%)	総世帯数	15,863世帯 (558,660世帯)	15,141世帯 (558,230世帯)	△5% (△0%)	区分	平成22年		令和2年		人数	割合	人数	割合	第1次産業	5,771人 (51,695人)	25% (8%)	4,761人 (40,802人)	22% (7%)	第2次産業	4,614人 (127,183人)	20% (20%)	4,116人 (116,363人)	19% (19%)	第3次産業	12,952人 (472,094人)	55% (73%)	12,613人 (460,542人)	59% (75%)	区分	平成22年	令和2年	増減率	経営耕地面積	4,064 ha	3,647 ha	△10%	農家戸数	4,020 戸	3,023 戸	△25%	農業就業人口	5,562 人	3,779 人	△32%	うち65歳以上	2,691 人	1,896 人	△30%	<p>総世帯数については、平成22年と令和2年を比較すると5%（△722世帯）低下し、長崎県全体の減少率0%（△430世帯）を上回っている。</p> <p>【人口、世帯数】</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 5px;"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>平成22年</th> <th>令和2年</th> <th>増減率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総人口</td> <td>47,245人 (1,426,779人)</td> <td>41,096人 (1,312,317人)</td> <td>△13% (△8%)</td> </tr> <tr> <td>総世帯数</td> <td>15,863世帯 (558,660世帯)</td> <td>15,141世帯 (558,230世帯)</td> <td>△5% (△0%)</td> </tr> </tbody> </table> <p>(出典：国勢調査) 注：表中の下段（ ）は長崎県全体の値。</p> <p>産業別就業人口については、第1次産業の割合が平成22年の25%から令和2年の22%に3%（△1,010人）減少しているが、令和2年の長崎県全体の割合7%に比べて高い状況となっている。</p> <p>【産業別就業人口】</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 5px;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="2">平成22年</th> <th colspan="2">令和2年</th> </tr> <tr> <th>人数</th> <th>割合</th> <th>人数</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1次産業</td> <td>5,771人 (51,695人)</td> <td>25% (8%)</td> <td>4,761人 (40,802人)</td> <td>22% (7%)</td> </tr> <tr> <td>第2次産業</td> <td>4,614人 (127,183人)</td> <td>20% (20%)</td> <td>4,116人 (116,363人)</td> <td>19% (19%)</td> </tr> <tr> <td>第3次産業</td> <td>12,952人 (472,094人)</td> <td>55% (73%)</td> <td>12,613人 (460,542人)</td> <td>59% (75%)</td> </tr> </tbody> </table> <p>(出典：国勢調査) 注：表中の下段（ ）は長崎県全体の値。</p> <p>(2) 地域農業の動向</p> <p>平成22年と令和2年を比較すると、経営耕地面積については△10%、農家戸数は△25%、農業就業人口は△32%減少しており、65歳以上の農業就業人口についても△30%減少している。一方、農家1戸当たりの経営面積は19%、認定農業者数は5%増加している。</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>平成22年</th> <th>令和2年</th> <th>増減率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>経営耕地面積</td> <td>4,064 ha</td> <td>3,647 ha</td> <td>△10%</td> </tr> <tr> <td>農家戸数</td> <td>4,020 戸</td> <td>3,023 戸</td> <td>△25%</td> </tr> <tr> <td>農業就業人口</td> <td>5,562 人</td> <td>3,779 人</td> <td>△32%</td> </tr> <tr> <td>うち65歳以上</td> <td>2,691 人</td> <td>1,896 人</td> <td>△30%</td> </tr> </tbody> </table>				区分	平成22年	令和2年	増減率	総人口	47,245人 (1,426,779人)	41,096人 (1,312,317人)	△13% (△8%)	総世帯数	15,863世帯 (558,660世帯)	15,141世帯 (558,230世帯)	△5% (△0%)	区分	平成22年		令和2年		人数	割合	人数	割合	第1次産業	5,771人 (51,695人)	25% (8%)	4,761人 (40,802人)	22% (7%)	第2次産業	4,614人 (127,183人)	20% (20%)	4,116人 (116,363人)	19% (19%)	第3次産業	12,952人 (472,094人)	55% (73%)	12,613人 (460,542人)	59% (75%)	区分	平成22年	令和2年	増減率	経営耕地面積	4,064 ha	3,647 ha	△10%	農家戸数	4,020 戸	3,023 戸	△25%	農業就業人口	5,562 人	3,779 人	△32%	うち65歳以上	2,691 人	1,896 人	△30%
区分	平成22年	令和2年	増減率																																																																																																																				
総人口	47,245人 (1,426,779人)	41,096人 (1,312,317人)	△13% (△8%)																																																																																																																				
総世帯数	15,863世帯 (558,660世帯)	15,141世帯 (558,230世帯)	△5% (△0%)																																																																																																																				
区分	平成22年		令和2年																																																																																																																				
	人数	割合	人数	割合																																																																																																																			
第1次産業	5,771人 (51,695人)	25% (8%)	4,761人 (40,802人)	22% (7%)																																																																																																																			
第2次産業	4,614人 (127,183人)	20% (20%)	4,116人 (116,363人)	19% (19%)																																																																																																																			
第3次産業	12,952人 (472,094人)	55% (73%)	12,613人 (460,542人)	59% (75%)																																																																																																																			
区分	平成22年	令和2年	増減率																																																																																																																				
経営耕地面積	4,064 ha	3,647 ha	△10%																																																																																																																				
農家戸数	4,020 戸	3,023 戸	△25%																																																																																																																				
農業就業人口	5,562 人	3,779 人	△32%																																																																																																																				
うち65歳以上	2,691 人	1,896 人	△30%																																																																																																																				
区分	平成22年	令和2年	増減率																																																																																																																				
総人口	47,245人 (1,426,779人)	41,096人 (1,312,317人)	△13% (△8%)																																																																																																																				
総世帯数	15,863世帯 (558,660世帯)	15,141世帯 (558,230世帯)	△5% (△0%)																																																																																																																				
区分	平成22年		令和2年																																																																																																																				
	人数	割合	人数	割合																																																																																																																			
第1次産業	5,771人 (51,695人)	25% (8%)	4,761人 (40,802人)	22% (7%)																																																																																																																			
第2次産業	4,614人 (127,183人)	20% (20%)	4,116人 (116,363人)	19% (19%)																																																																																																																			
第3次産業	12,952人 (472,094人)	55% (73%)	12,613人 (460,542人)	59% (75%)																																																																																																																			
区分	平成22年	令和2年	増減率																																																																																																																				
経営耕地面積	4,064 ha	3,647 ha	△10%																																																																																																																				
農家戸数	4,020 戸	3,023 戸	△25%																																																																																																																				
農業就業人口	5,562 人	3,779 人	△32%																																																																																																																				
うち65歳以上	2,691 人	1,896 人	△30%																																																																																																																				

令和5年度 農業農村整備事業等事後評価地区別結果書「八斗木地区」変更対比表

変更後【技術検討会（第2回）】	変更前【技術検討会（第1回）】																																												
<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <tr> <td style="width:20%;">戸当たり経営面積</td> <td style="width:20%;">1.01ha/戸</td> <td style="width:20%;">1.21ha/戸</td> <td style="width:20%;">19%</td> </tr> <tr> <td>認定農業者数</td> <td>879 経営体</td> <td>921 経営体</td> <td>5%</td> </tr> </table> <p>(出典：農林業センサス、認定農業者数は長崎県調べ) 注：戸当たり経営面積は経営耕地面積／農家戸数の値。</p> <p>2 事業により整備された施設の管理状況 本事業により整備された土地改良施設は、八斗木土地改良区により適正に維持管理されており、排水路や農道の草刈り（年3回）、沈砂池の土砂上げ（1回/3年程度）等は多面的機能支払交付金を活用し適切な管理が実施されている。</p> <p>3 費用対効果分析の算定基礎となった要因の変化 (1) 農作物の生産量の変化 地区の特産である雲仙ブランド認定の「八斗木白葱」は、安定した畑地かんがい用水の確保及び区画整理による作業効率の向上に併せ、共同育苗施設の導入による計画的な良苗の提供により周年栽培が確立され、<u>現況より作付面積が増加しているが、連作障害発生の懸念から、他作物や緑肥作物との輪作と土づくりによる連作障害回避に取り組んでいることにより計画面積には至っていない。</u> <u>特に、かんがい用水を活用した収益性の高い作物として、にんじん（夏植え）がねぎとの輪作により作付面積が大幅に増加し、にんじん（春植え）の作付拡大と合わせて延べ作付面積の3割を占めるまでに増加している。</u> ブロッコリーは選果場の受け入れ制限により計画面積には至っていないが、<u>ねぎとの輪作により作付面積</u>が増加してきており、第2選果場の設置により今後の作付け増加が見込まれる。 さらに、新たな作物としてかぼちゃの導入が図られている。 ばれいしょ（秋・春植え）、だいこん及びはくさいは、にんじん（夏・春植え）の作付けを志向したことから作付面積が減少している。 なお、これら農作物の生産量の変化により、ねぎを主体に農業生産額の向上（全作物の生産額合計：1.8億円→2.9億円）に繋がっている。</p> <p>【作付面積】 (単位：ha)</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="2">事業計画（平成29年）</th> <th rowspan="2">評価時点 (令和5年)</th> </tr> <tr> <th>現況 (平成23年)</th> <th>計画</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ねぎ</td> <td style="text-align: center;">22.4</td> <td style="text-align: center;">30.0</td> <td style="text-align: center;">25.6</td> </tr> <tr> <td>ばれいしょ(秋植え)</td> <td style="text-align: center;">3.0</td> <td style="text-align: center;">1.5</td> <td style="text-align: center;">0.5</td> </tr> </tbody> </table>	戸当たり経営面積	1.01ha/戸	1.21ha/戸	19%	認定農業者数	879 経営体	921 経営体	5%	区分	事業計画（平成29年）		評価時点 (令和5年)	現況 (平成23年)	計画	ねぎ	22.4	30.0	25.6	ばれいしょ(秋植え)	3.0	1.5	0.5	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <tr> <td style="width:20%;">戸当たり経営面積</td> <td style="width:20%;">1.01ha/戸</td> <td style="width:20%;">1.21ha/戸</td> <td style="width:20%;">19%</td> </tr> <tr> <td>認定農業者数</td> <td>879 経営体</td> <td>921 経営体</td> <td>5%</td> </tr> </table> <p>(出典：農林業センサス、認定農業者数は長崎県調べ) 注：戸当たり経営面積は経営耕地面積／農家戸数の値。</p> <p>2 事業により整備された施設の管理状況 本事業により整備された土地改良施設は、八斗木土地改良区により適正に維持管理されており、排水路や農道の草刈り（年3回）、沈砂池の土砂上げ（1回/3年程度）等は多面的機能支払交付金を活用し適切な管理が実施されている。</p> <p>3 費用対効果分析の算定基礎となった要因の変化 (1) 農作物の生産量の変化 地区の特産である雲仙ブランド認定の「八斗木白葱」は、安定した畑地かんがい用水が確保され、<u>区画整理により作業効率が向上されたことにより計画面積には至っていないが、作付面積が増加し、併せて、共同育苗施設の導入による計画的な良苗の提供により周年栽培が確立され、延べ作付面積の4割強を占め生産量が向上した。</u> <u>また、新たな作物としてにんじん（夏植え）の作付面積が大幅に増加し、にんじん（春植え）の作付拡大と合わせて延べ作付面積の3割を占めるまでに増加している。</u> ブロッコリーは選果場の受け入れ制限により計画面積には至っていないが、<u>作付面積</u>が増加してきており、第2選果場の設置により今後の作付け増加が見込まれる。 さらに、新たな作物としてかぼちゃの導入が図られている。 ばれいしょ（秋・春植え）、だいこん及びはくさいは、にんじん（夏・春植え）の作付けを志向したことから作付面積が減少している。 なお、これら農作物の生産量の変化により、ねぎを主体に農業生産額の向上（全作物の生産額合計：1.8億円→2.9億円）に繋がっている。</p> <p>【作付面積】 (単位：ha)</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="2">事業計画（平成29年）</th> <th rowspan="2">評価時点 (令和5年)</th> </tr> <tr> <th>現況 (平成23年)</th> <th>計画</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ねぎ</td> <td style="text-align: center;">22.4</td> <td style="text-align: center;">30.0</td> <td style="text-align: center;">25.6</td> </tr> <tr> <td>ばれいしょ(秋植え)</td> <td style="text-align: center;">3.0</td> <td style="text-align: center;">1.5</td> <td style="text-align: center;">0.5</td> </tr> </tbody> </table>	戸当たり経営面積	1.01ha/戸	1.21ha/戸	19%	認定農業者数	879 経営体	921 経営体	5%	区分	事業計画（平成29年）		評価時点 (令和5年)	現況 (平成23年)	計画	ねぎ	22.4	30.0	25.6	ばれいしょ(秋植え)	3.0	1.5	0.5
戸当たり経営面積	1.01ha/戸	1.21ha/戸	19%																																										
認定農業者数	879 経営体	921 経営体	5%																																										
区分	事業計画（平成29年）		評価時点 (令和5年)																																										
	現況 (平成23年)	計画																																											
ねぎ	22.4	30.0	25.6																																										
ばれいしょ(秋植え)	3.0	1.5	0.5																																										
戸当たり経営面積	1.01ha/戸	1.21ha/戸	19%																																										
認定農業者数	879 経営体	921 経営体	5%																																										
区分	事業計画（平成29年）		評価時点 (令和5年)																																										
	現況 (平成23年)	計画																																											
ねぎ	22.4	30.0	25.6																																										
ばれいしょ(秋植え)	3.0	1.5	0.5																																										

令和5年度 農業農村整備事業等事後評価地区別結果書「八斗木地区」変更対比表

変更後【技術検討会（第2回）】				変更前【技術検討会（第1回）】			
ソルゴー	2.0	2.0	2.0	ソルゴー	2.0	2.0	2.0
にんじん(夏植え)	-	1.0	9.7	にんじん(夏植え)	-	1.0	9.7
さといも	0.2	-	-	さといも	0.2	-	-
かぼちゃ	-	1.0	0.4	かぼちゃ	-	1.0	0.4
ばれいしょ(春植え)	3.0	1.5	2.3	ばれいしょ(春植え)	3.0	1.5	2.3
イタリアンライグラス	2.0	2.0	2.0	イタリアンライグラス	2.0	2.0	2.0
だいこん	2.0	4.0	0.9	だいこん	2.0	4.0	0.9
はくさい	1.4	4.0	0.5	はくさい	1.4	4.0	0.5
ブロッコリー	0.5	10.0	4.4	ブロッコリー	0.5	10.0	4.4
たまねぎ	0.5	-	1.3	たまねぎ	0.5	-	1.3
レタス	-	3.0	-	レタス	-	3.0	-
にんじん(春植え)	0.8	3.0	7.8	にんじん(春植え)	0.8	3.0	7.8
(出典：事業計画書（最終計画）、雲仙市聞き取り)				(出典：事業計画書（最終計画）、雲仙市聞き取り)			
【生産量】 (単位：t)				【生産量】 (単位：t)			
区分	事業計画（平成29年）		評価時点 (令和5年)	区分	事業計画（平成29年）		評価時点 (令和5年)
	現況 (平成29年)	計画			現況 (平成29年)	計画	
ねぎ	412.6	624.3	550.9	ねぎ	412.6	624.3	550.9
ばれいしょ(秋植え)	79.7	39.9	13.7	ばれいしょ(秋植え)	79.7	39.9	13.7
ソルゴー	102.7	123.2	85.7	ソルゴー	102.7	123.2	85.7
にんじん(夏植え)	-	38.3	399.3	にんじん(夏植え)	-	38.3	399.3
かぼちゃ	-	15.0	4.7	かぼちゃ	-	15.0	4.7
ばれいしょ(春植え)	79.7	39.9	62.9	ばれいしょ(春植え)	79.7	39.9	62.9
イタリアンライグラス	97.7	117.3	99.9	イタリアンライグラス	97.7	117.3	99.9
だいこん	182.6	420.0	78.8	だいこん	182.6	420.0	78.8
はくさい	73.8	238.2	29.3	はくさい	73.8	238.2	29.3
ブロッコリー	5.4	107.4	45.2	ブロッコリー	5.4	107.4	45.2
たまねぎ	21.8	-	58.3	たまねぎ	21.8	-	58.3
にんじん(春植え)	30.6	114.8	310.2	にんじん(春植え)	30.6	114.8	310.2
(出典：事業計画書（最終計画）、雲仙市聞き取り)				(出典：事業計画書（最終計画）、雲仙市聞き取り)			

令和5年度 農業農村整備事業等事後評価地区別結果書「八斗木地区」変更対比表

変更後【技術検討会（第2回）】				変更前【技術検討会（第1回）】			
【生産額】 (単位：百万円)				【生産額】 (単位：百万円)			
区分	事業計画（平成29年）		評価時点 (令和5年)	区分	事業計画（平成29年）		評価時点 (令和5年)
	現況 (平成29年)	計画			現況 (平成29年)	計画	
ねぎ	135	204	190	ねぎ	135	204	190
ばれいしょ(秋植え)	9	4	2	ばれいしょ(秋植え)	9	4	2
ソルゴー	3	4	4	ソルゴー	3	4	4
にんじん(夏植え)	-	4	34	にんじん(夏植え)	-	4	34
かぼちゃ	-	2	1	かぼちゃ	-	2	1
ばれいしょ(春植え)	9	4	8	ばれいしょ(春植え)	9	4	8
イタリアンライグラス	3	3	4	イタリアンライグラス	3	3	4
だいこん	12	26	4	だいこん	12	26	4
はくさい	5	15	2	はくさい	5	15	2
ブロッコリー	2	31	15	ブロッコリー	2	31	15
たまねぎ	2	-	6	たまねぎ	2	-	6
にんじん(春植え)	3	11	26	にんじん(春植え)	3	11	26
(出典：事業計画書（最終計画）、雲仙市聞き取り)				(出典：事業計画書（最終計画）、雲仙市聞き取り)			
<p>(2) 営農経費の節減</p> <p>本事業の実施により、安定的なかんがい用水が確保され、農業機械の導入及び作業効率化により、労働時間が節減されている。特産のねぎでは、共同育苗施設の活用により育苗労力も軽減されており、計画を上回る労働時間の節減（現況に対し20%減）と機械経費についても大幅な節減（現況に対し64%減）が図られている。</p> <p>作付け拡大したにんじん（夏・春植え）やブロッコリーでは、計画どおりに労働時間が節減され、機械経費についても計画を上回る節減が図られている。</p> <p>具体的な節減要因としては、畑地かんがい施設の整備による用水運搬作業の軽減、区画整理及び耕作道路整備によるほ場作業の効率化及び農業機械の通作・搬入出、収穫物搬出の効率化による作業軽減が実現できている状況があげられる。</p>				<p>(2) 営農経費の節減</p> <p>本事業の実施により、安定的なかんがい用水の確保が図られるとともに、区画整理に伴う農業機械の導入及び作業効率化が図られており、特産のねぎでは、共同育苗施設の活用により育苗労力の軽減が図られ、計画を上回る労働時間の節減（現況に対し20%減）が図れている。また、機械経費についても大幅な節減（現況に対し64%減）が図られている。</p> <p>作付け拡大したにんじん（夏・春植え）やブロッコリーでは、計画どおりに労働時間の節減が図られており、機械経費も計画を上回る節減となっている。</p> <p>具体的な節減要因としては、畑地かんがい施設の整備による用水運搬作業の軽減、区画整理及び耕作道路整備によるほ場作業の効率化及び農業機械の通作・搬入出、収穫物搬出の効率化による作業軽減が実現できている状況があげられる。</p>			
【労働時間】 (単位：hr/ha)				【労働時間】 (単位：hr/ha)			
区分	事業計画（平成29年）		評価時点 (令和5年)	区分	事業計画（平成29年）		評価時点 (令和5年)
	現況 (平成29年)	計画			現況 (平成29年)	計画	
ねぎ	2,057	1,736	1,616	ねぎ	2,057	1,736	1,616

令和5年度 農業農村整備事業等事後評価地区別結果書「八斗木地区」変更対比表

変更後【技術検討会（第2回）】				変更前【技術検討会（第1回）】																																																			
	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td>にんじん(夏植え)</td><td style="text-align: center;">1,913</td><td style="text-align: center;">839</td><td style="text-align: center;">839</td></tr> <tr><td>ブロッコリー</td><td style="text-align: center;">1,431</td><td style="text-align: center;">366</td><td style="text-align: center;">366</td></tr> <tr><td>にんじん(春植え)</td><td style="text-align: center;">1,736</td><td style="text-align: center;">1,429</td><td style="text-align: center;">1,429</td></tr> </table> <p>(出典：事業計画書（最終計画）、雲仙市聞き取り)</p>	にんじん(夏植え)	1,913	839	839	ブロッコリー	1,431	366	366	にんじん(春植え)	1,736	1,429	1,429		<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td>にんじん(夏植え)</td><td style="text-align: center;">1,913</td><td style="text-align: center;">839</td><td style="text-align: center;">839</td></tr> <tr><td>ブロッコリー</td><td style="text-align: center;">1,431</td><td style="text-align: center;">366</td><td style="text-align: center;">366</td></tr> <tr><td>にんじん(春植え)</td><td style="text-align: center;">1,736</td><td style="text-align: center;">1,429</td><td style="text-align: center;">1,429</td></tr> </table> <p>(出典：事業計画書（最終計画）、雲仙市聞き取り)</p>	にんじん(夏植え)	1,913	839	839	ブロッコリー	1,431	366	366	にんじん(春植え)	1,736	1,429	1,429																												
にんじん(夏植え)	1,913	839	839																																																				
ブロッコリー	1,431	366	366																																																				
にんじん(春植え)	1,736	1,429	1,429																																																				
にんじん(夏植え)	1,913	839	839																																																				
ブロッコリー	1,431	366	366																																																				
にんじん(春植え)	1,736	1,429	1,429																																																				
	<p>【機械経費】 (単位：千円/ha)</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="2">事業計画（平成29年）</th> <th rowspan="2">評価時点 (令和5年)</th> </tr> <tr> <th>現況 (平成29年)</th> <th>計画</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>ねぎ</td><td style="text-align: center;">1,322</td><td style="text-align: center;">723</td><td style="text-align: center;">475</td></tr> <tr><td>にんじん(夏植え)</td><td style="text-align: center;">842</td><td style="text-align: center;">339</td><td style="text-align: center;">234</td></tr> <tr><td>ブロッコリー</td><td style="text-align: center;">1,020</td><td style="text-align: center;">183</td><td style="text-align: center;">122</td></tr> <tr><td>にんじん(春植え)</td><td style="text-align: center;">575</td><td style="text-align: center;">379</td><td style="text-align: center;">273</td></tr> </tbody> </table> <p>(出典：事業計画書（最終計画）、雲仙市聞き取り)</p>	区分	事業計画（平成29年）		評価時点 (令和5年)	現況 (平成29年)	計画	ねぎ	1,322	723	475	にんじん(夏植え)	842	339	234	ブロッコリー	1,020	183	122	にんじん(春植え)	575	379	273		<p>【機械経費】 (単位：千円/ha)</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="2">事業計画（平成29年）</th> <th rowspan="2">評価時点 (令和5年)</th> </tr> <tr> <th>現況 (平成29年)</th> <th>計画</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>ねぎ</td><td style="text-align: center;">1,322</td><td style="text-align: center;">723</td><td style="text-align: center;">475</td></tr> <tr><td>にんじん(夏植え)</td><td style="text-align: center;">842</td><td style="text-align: center;">339</td><td style="text-align: center;">234</td></tr> <tr><td>ブロッコリー</td><td style="text-align: center;">1,020</td><td style="text-align: center;">183</td><td style="text-align: center;">122</td></tr> <tr><td>にんじん(春植え)</td><td style="text-align: center;">575</td><td style="text-align: center;">379</td><td style="text-align: center;">273</td></tr> </tbody> </table> <p>(出典：事業計画書（最終計画）、雲仙市聞き取り)</p>	区分	事業計画（平成29年）		評価時点 (令和5年)	現況 (平成29年)	計画	ねぎ	1,322	723	475	にんじん(夏植え)	842	339	234	ブロッコリー	1,020	183	122	にんじん(春植え)	575	379	273								
区分	事業計画（平成29年）		評価時点 (令和5年)																																																				
	現況 (平成29年)	計画																																																					
ねぎ	1,322	723	475																																																				
にんじん(夏植え)	842	339	234																																																				
ブロッコリー	1,020	183	122																																																				
にんじん(春植え)	575	379	273																																																				
区分	事業計画（平成29年）		評価時点 (令和5年)																																																				
	現況 (平成29年)	計画																																																					
ねぎ	1,322	723	475																																																				
にんじん(夏植え)	842	339	234																																																				
ブロッコリー	1,020	183	122																																																				
にんじん(春植え)	575	379	273																																																				
<p>4 事業効果の発現状況</p> <p>(1) 事業の目的に関する事項</p> <p>① 農業生産性の向上</p> <p>本事業の実施により、安定的な畑地かんがい用水が確保され、排水路設置によりほ場排水性が向上したことから、ねぎやばれいしょ、はくさい及びにんじん（春植え）、イタリアンライグラスの単収が増加しており、生産性の向上が図られている。</p> <p><u>ブロッコリーは春季の作型における気象不安定化の影響、だいこんは市場の求めるサイズの変化により単収は現況からわずかに減少（4%減）し、ソルゴーは近年の台風や豪雨により減少（17%減）している。</u></p>		<p>4 事業効果の発現状況</p> <p>(1) 事業の目的に関する事項</p> <p>① 農業生産性の向上</p> <p>本事業の実施により、安定的な畑地かんがい用水が確保され、排水路設置によりほ場排水性が向上したことから、ねぎやばれいしょ、はくさい及びにんじん（春植え）、イタリアンライグラスの単収が増加しており、生産性の向上が図られている。</p> <p><u>ブロッコリー及びだいこんの単収は現況からわずかに減少（4%減）し、ソルゴーも減少（17%減）しているが、近年の台風や豪雨などの気象の不安定化の影響と思われる。</u></p>																																																					
	<p>【単収】 (単位：kg/10a)</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="2">事業計画（平成29年）</th> <th rowspan="2">評価時点 (令和5年)</th> </tr> <tr> <th>現況 (平成29年)</th> <th>計画</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>ねぎ</td><td style="text-align: center;">1,842</td><td style="text-align: center;">2,081</td><td style="text-align: center;">2,152</td></tr> <tr><td>ばれいしょ(秋植え)</td><td style="text-align: center;">2,657</td><td style="text-align: center;">2,657</td><td style="text-align: center;">2,733</td></tr> <tr><td>ソルゴー</td><td style="text-align: center;">5,135</td><td style="text-align: center;">6,162</td><td style="text-align: center;">4,285</td></tr> <tr><td>ばれいしょ(春植え)</td><td style="text-align: center;">2,657</td><td style="text-align: center;">2,657</td><td style="text-align: center;">2,733</td></tr> <tr><td>イタリアンライグラス</td><td style="text-align: center;">4,886</td><td style="text-align: center;">5,863</td><td style="text-align: center;">4,997</td></tr> </tbody> </table>	区分	事業計画（平成29年）		評価時点 (令和5年)	現況 (平成29年)	計画	ねぎ	1,842	2,081	2,152	ばれいしょ(秋植え)	2,657	2,657	2,733	ソルゴー	5,135	6,162	4,285	ばれいしょ(春植え)	2,657	2,657	2,733	イタリアンライグラス	4,886	5,863	4,997		<p>【単収】 (単位：kg/10a)</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="2">事業計画（平成29年）</th> <th rowspan="2">評価時点 (令和5年)</th> </tr> <tr> <th>現況 (平成29年)</th> <th>計画</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>ねぎ</td><td style="text-align: center;">1,842</td><td style="text-align: center;">2,081</td><td style="text-align: center;">2,152</td></tr> <tr><td>ばれいしょ(秋植え)</td><td style="text-align: center;">2,657</td><td style="text-align: center;">2,657</td><td style="text-align: center;">2,733</td></tr> <tr><td>ソルゴー</td><td style="text-align: center;">5,135</td><td style="text-align: center;">6,162</td><td style="text-align: center;">4,285</td></tr> <tr><td>ばれいしょ(春植え)</td><td style="text-align: center;">2,657</td><td style="text-align: center;">2,657</td><td style="text-align: center;">2,733</td></tr> <tr><td>イタリアンライグラス</td><td style="text-align: center;">4,886</td><td style="text-align: center;">5,863</td><td style="text-align: center;">4,997</td></tr> </tbody> </table>	区分	事業計画（平成29年）		評価時点 (令和5年)	現況 (平成29年)	計画	ねぎ	1,842	2,081	2,152	ばれいしょ(秋植え)	2,657	2,657	2,733	ソルゴー	5,135	6,162	4,285	ばれいしょ(春植え)	2,657	2,657	2,733	イタリアンライグラス	4,886	5,863	4,997
区分	事業計画（平成29年）		評価時点 (令和5年)																																																				
	現況 (平成29年)	計画																																																					
ねぎ	1,842	2,081	2,152																																																				
ばれいしょ(秋植え)	2,657	2,657	2,733																																																				
ソルゴー	5,135	6,162	4,285																																																				
ばれいしょ(春植え)	2,657	2,657	2,733																																																				
イタリアンライグラス	4,886	5,863	4,997																																																				
区分	事業計画（平成29年）		評価時点 (令和5年)																																																				
	現況 (平成29年)	計画																																																					
ねぎ	1,842	2,081	2,152																																																				
ばれいしょ(秋植え)	2,657	2,657	2,733																																																				
ソルゴー	5,135	6,162	4,285																																																				
ばれいしょ(春植え)	2,657	2,657	2,733																																																				
イタリアンライグラス	4,886	5,863	4,997																																																				

令和5年度 農業農村整備事業等事後評価地区別結果書「八斗木地区」変更対比表

変更後【技術検討会（第2回）】				変更前【技術検討会（第1回）】					
	だいこん	9,130	10,500	8,759		だいこん	9,130	10,500	8,759
	はくさい	5,271	5,956	5,866		はくさい	5,271	5,956	5,866
	ブロッコリー	1,074	1,074	1,028		ブロッコリー	1,074	1,074	1,028
	にんじん(春植え)	3,826	3,826	3,977		にんじん(春植え)	3,826	3,826	3,977
(出典：事業計画書（最終計画）、JA 島原雲仙聞き取り)					(出典：事業計画書（最終計画）、JA 島原雲仙聞き取り)				
<p>(2) 土地改良長期計画における施策と目指す成果の確認</p> <p>① 担い手の体質強化</p> <p>本事業の実施により、地区内の担い手農家（認定農業者）への農地集積も進んでおり、集積面積及び集積率ともに計画どおりとなっている。<u>なお、17名の担い手農家（認定農業者）のうち3人は後継者へ代替わりし、7名は後継者が親元就農している。</u></p>					<p>(2) 土地改良長期計画における施策と目指す成果の確認</p> <p>① 担い手の体質強化</p> <p>本事業の実施により、地区内の担い手農家（認定農業者）への農地集積も進んでおり、集積面積及び集積率ともに計画どおりとなっている。<u><</u></p>				
【担い手の育成状況】					【担い手の育成状況】				
		事業計画（平成29年）		評価時点 (令和5年)			事業計画（平成29年）		評価時点 (令和5年)
区分	現況 (平成23年)	計画			現況 (平成23年)	計画			
認定農業者（人）	17	17	17			認定農業者（人）	17	17	17
農地所有適格法人等（組織）	-	-	-			農地所有適格法人等（組織）	-	-	-
(出典：雲仙市聞き取り)					(出典：雲仙市聞き取り)				
【担い手の農地集積】					【担い手の農地集積】				
		事業計画（平成29年）		評価時点 (令和5年)			事業計画（平成29年）		評価時点 (令和5年)
区分	現況 (平成23年)	計画			現況 (平成23年)	計画			
農地集積面積 (ha)	17.9	28.7	29.0			農地集積面積 (ha)	17.9	28.7	29.0
農地集積率 (%)	44.8	74.0	74.7			農地集積率 (%)	44.8	74.0	74.7
(出典：雲仙市聞き取り)					(出典：雲仙市聞き取り)				
<p>② 高収益作物の生産拡大</p> <p>安定的な農業用水の供給及び効率的な生産基盤条件が改善されたことにより、ねぎは周年栽培体系のもと生産拡大が図られ、JA 島原雲仙における販売額は増加（平成21年：284百万円→令和4年：344百万円、21%増）しており、にんじんなどの高収益作物の作付拡大も相まって、農家所得の向上に繋がっている。</p>					<p>② 高収益作物の生産拡大</p> <p>安定的な農業用水の供給及び効率的な生産基盤条件が改善されたことにより、ねぎは周年栽培体系のもと生産拡大が図られ、JA 島原雲仙における販売額は増加（平成21年：284百万円→令和4年：344百万円、21%増）しており、にんじんなどの高収益作物の作付拡大も相まって、農家所得の向上に繋がっている。</p>				

令和5年度 農業農村整備事業等事後評価地区別結果書「八斗木地区」変更対比表

変更後【技術検討会（第2回）】		変更前【技術検討会（第1回）】																									
<p>【JA島原雲仙における八斗木地区の野菜の販売額】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>事業実施前 (平成21年)</th> <th>事後評価時 (令和4年)</th> <th>増加額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ねぎ</td> <td>284百万円</td> <td>344百万円</td> <td>60百万円</td> </tr> <tr> <td>にんじん</td> <td>2百万円</td> <td>61百万円</td> <td>59百万円</td> </tr> </tbody> </table> <p>(出典：JA島原雲仙聞き取り) ※にんじんは栽培開始のH24年値</p> <p>③ 農村協働力と美しい農村の再生・創造 本事業の実施を契機として八斗木白葱生産組合を中心とした集落内での話し合い等の機会が増加し、多面的機能支払交付金等を活用した地区内の農道や農業用排水路の維持管理を地域ぐるみで行う共同活動など、コミュニティを母体とした地域活動が活発化している。 また、高収益作物の生産拡大により、地区外に転出していた若年層が戻り農業後継者になる等の動きが見られ、全国的な児童数減少傾向の中で、集落内の八斗木小学校においては児童数が増加（平成23年：全校生43名→令和4年：全校生74名）するなど、地域の賑わい創出に繋がっている。<u>また、高卒の新規就農が1名予定されている。</u></p> <p>(3) 事業による波及的効果等 ① 環境保全型農業の取組 本事業の実施により耕作道路が整備され、<u>堆肥、緑肥、出荷調製後のねぎ残渣等の有機質資材のほ場への搬入が容易となったことから、環境保全型農業にも取り組まれ、八斗木白葱生産部会員全員が長崎県エコファーマーの認証を受け、減化学肥料・減農薬に取り組むとともに、栽培履歴が開示できるよう薬剤使用の履歴記録、残留農薬検査及びその相互</u>チェックに努め、雲仙ブランド農産物の品質管理に取り組んでいる。</p> <p>(4) 事後評価時点における費用対効果分析の結果 総便益 3,596百万円 総費用 3,371百万円 総費用総便益比 1.06 (注) 総費用総便益比方式により算定。</p> <p>5 事業実施による環境の変化 (1) 生活環境 事業実施前は車両通行が可能な農道が少なく、ほ場通作や地区内移動に支障をきたしていた。また、排水路のない段々畑では隣接畑への耕土流亡や畑越排水が生じており、本地区に近</p>		区分	事業実施前 (平成21年)	事後評価時 (令和4年)	増加額	ねぎ	284百万円	344百万円	60百万円	にんじん	2百万円	61百万円	59百万円	<p>【JA島原雲仙における八斗木白葱等の販売額】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>事業実施前 (平成21年)</th> <th>事後評価時 (令和4年)</th> <th>増加額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ねぎ</td> <td>284百万円</td> <td>344百万円</td> <td>60百万円</td> </tr> <tr> <td>にんじん</td> <td>2百万円</td> <td>61百万円</td> <td>59百万円</td> </tr> </tbody> </table> <p>(出典：JA島原雲仙聞き取り) ※にんじんは栽培開始のH24年値</p> <p>③ 農村協働力と美しい農村の再生・創造 本事業の実施を契機として八斗木白葱生産組合を中心とした集落内での話し合い等の機会が増加し、多面的機能支払交付金等を活用した地区内の農道や農業用排水路の維持管理を地域ぐるみで行う共同活動など、コミュニティを母体とした地域活動が活発化している。 また、高収益作物の生産拡大により、地区外に転出していた若年層が戻り農業後継者になる等の動きが見られ、全国的な児童数減少傾向の中で、集落内の八斗木小学校においては児童数が増加（平成23年：全校生43名→令和4年：全校生74名）するなど、地域の賑わい創出に繋がっている。<</p> <p>(3) 事業による波及的効果等 ① 環境保全型農業の取組 本事業の実施により耕作道路が整備され、<u>ほ場への有機質資材の搬入が容易となったことから、環境保全型農業にも取り組まれ、八斗木白葱生産組合員自らの取組</u>チェックに努めて、雲仙ブランド農産物の品質管理に取り組んでいる。</p> <p>(4) 事後評価時点における費用対効果分析の結果 総便益 3,596百万円 総費用 3,371百万円 総費用総便益比 1.06 (注) 総費用総便益比方式により算定。</p> <p>5 事業実施による環境の変化 (1) 生活環境 事業実施前は車両通行が可能な農道が少なく、ほ場通作や地区内移動に支障をきたしていた。また、排水路のない段々畑では隣接畑への耕土流亡や畑越排水が生じており、本地区に近</p>		区分	事業実施前 (平成21年)	事後評価時 (令和4年)	増加額	ねぎ	284百万円	344百万円	60百万円	にんじん	2百万円	61百万円	59百万円
区分	事業実施前 (平成21年)	事後評価時 (令和4年)	増加額																								
ねぎ	284百万円	344百万円	60百万円																								
にんじん	2百万円	61百万円	59百万円																								
区分	事業実施前 (平成21年)	事後評価時 (令和4年)	増加額																								
ねぎ	284百万円	344百万円	60百万円																								
にんじん	2百万円	61百万円	59百万円																								

令和5年度 農業農村整備事業等事後評価地区別結果書「八斗木地区」変更対比表

変更後【技術検討会（第2回）】		変更前【技術検討会（第1回）】	
<p>接するため池への土砂流入が生じていたが、事業実施後は、本事業で整備された畑地かんがい施設、排水路や沈砂池、耕作道路は八斗木土地改良区及び受益者により適切に管理されており、ほ場への効率的な通作が可能となったほか、地域住民の交通利便性や地区内の集排水機能の向上が図られている。</p> <p>(2) 自然環境 事業実施前は、不整形ながらも段々畑の石垣が本地域の農村景観を形成していた。本事業の実施にあたり、現況のほ場に設置されている石垣やほ場内から出土する石礫を区画整理の法面保護材へ再利用しており、事業実施前のほ場と変わらぬ地区の景観保全に取り組まれている。</p> <p>6 今後の課題等 本事業による区画整理により、機械化や畑作物の効率的な栽培管理が可能となるとともに、畑地かんがいの導入による用水確保労力の軽減や作物生産の安定化により、畑作農業経営の効率化が図られ、担い手への農地集積が進んでいる。 今後は、地域特産の八斗木白葱を中心とした認定農業者や後継者の育成、継承等により、持続的な農業生産活動を維持し、JA等による営農支援により農業技術の習得・定着を推進し、出荷量の確保と販路拡大による農業所得の向上を図っていく必要がある。</p>		<p>接するため池への土砂流入が生じていたが、事業実施後は、本事業で整備された畑地かんがい施設、排水路や沈砂池、耕作道路は八斗木土地改良区及び受益者により適切に管理されており、ほ場への効率的な通作が可能となったほか、地域住民の交通利便性や地区内の集排水機能の向上が図られている。</p> <p>(2) 自然環境 事業実施前は、不整形ながらも段々畑の石積み法面が本地域の農村景観を形成していた。本事業の実施にあたり、現況のほ場に設置されている石積みやほ場内から出土する礫石を再利用し、区画整理の法面保護材へ流用しており、事業実施前のほ場と変わらぬ地区の景観保全に取り組まれている。</p> <p>6 今後の課題等 本事業によるほ場の大区画化及び整形化により、大型機械化営農や畑作物の効率的な栽培管理が向上し、併せて畑地かんがいの導入による用水確保労力の軽減や作物生産の安定化に寄与し、大規模農業経営に向けた課題が改善され、担い手への農地集積が進んでいる。 今後は、地域特産の八斗木白葱を中心とした認定農業者や後継者の育成、継承等により、持続的な農業生産活動を維持し、JA等による営農支援により農業技術の習得・定着を推進し、出荷量の確保と販路拡大による農業所得の向上を図っていく必要がある。</p>	
事後評価結果	<p>本事業の実施により、区画整理と併せて耕作道路、排水路が整備され、農作業の効率化・省力化等が図られるとともに、畑地かんがい整備により安定的なかんがい用水が確保され、ねぎ、にんじん、ブロッコリー等の生産性が向上している。また、地区内の担い手（認定農業者）へ農地集積が促進されるとともに、高収益作物の生産性拡大により、地区外転出者のUターンを含む農業後継者の確保、ひいては集落の小学校児童数の増加など地域の賑わい創出に繋がっている。 今後は、更なる農業経営基盤の強化や農家所得の向上に向け、整備された農業生産基盤の下、雲仙ブランドの「八斗木白葱」を主体として、多様な畑作物の生産や販路づくり等に向けた取組が必要である。</p>	事後評価結果	<p>本事業の実施により、ほ場の整形化と併せて道路、排水路が整備され、農作業の効率化・省力化が図られるとともに、畑地かんがい整備により安定的なかんがい用水が確保され、ねぎ、にんじん、ブロッコリー等の生産性が向上している。また、地区内の担い手（認定農業者）へ農地集積が促進されるとともに、高収益作物の生産性拡大により、地区外転出者のUターンを含む農業後継者の確保、ひいては集落の小学校児童数の増加など地域の賑わい創出に繋がっている。 今後は、更なる農業経営基盤の強化や農家所得の向上に向け、整備された農業生産基盤の下、雲仙ブランドの「八斗木白葱」を主体として、多様な畑作物を対象としたブランド化や販路づくり等に向けた取組が必要である。</p>
第三者の意見		第三者の意見	